



2023年3月期 第2四半期

(2022年4月1日 ~ 2022年9月30日)

# 決算説明資料

**ENOMOTO Co.,Ltd.**

東証プライム 証券コード:6928

- ・ 売上高増加要因はパワー半導体用リードフレームの好調と、円安による外貨売上の換算額増加(5.7%)
- ・ 経常利益はスマートフォン向けコネクタの前年上期の前倒し出荷の反動や汎用リードフレームの出荷増による製品ミックスの変動と、生産力増強に伴う減価償却費、人件費等の増加により3.3%減益

	2022/3期 2Q累計		2023/3期 2Q累計		期比較	
	実績 (百万円)	売上比 (%)	実績 (百万円)	売上比 (%)	前年同期比 (%)	売上比増減 (pt)
売上高	13,714	100.0	<b>14,650</b>	<b>100.0</b>	+6.8	-
売上総利益	2,283	16.7	<b>2,173</b>	<b>14.8</b>	△4.8	△1.8
販管費	1,132	8.3	<b>1,234</b>	<b>8.4</b>	+9.0	+0.2
営業利益	1,151	8.4	<b>938</b>	<b>6.4</b>	△18.5	△2.0
為替差損益	△4	-	<b>138</b>	-	-	-
経常利益	1,166	8.5	<b>1,127</b>	<b>7.7</b>	△3.3	△0.8
当期純利益	848	6.2	<b>778</b>	<b>5.3</b>	△8.2	△0.9

- ・ パワー半導体用リードフレームの好調や円安により、1Q・2Qとも増収
- ・ 利益は前年同期比では減益だが、2022年3月期4Qを底に回復傾向

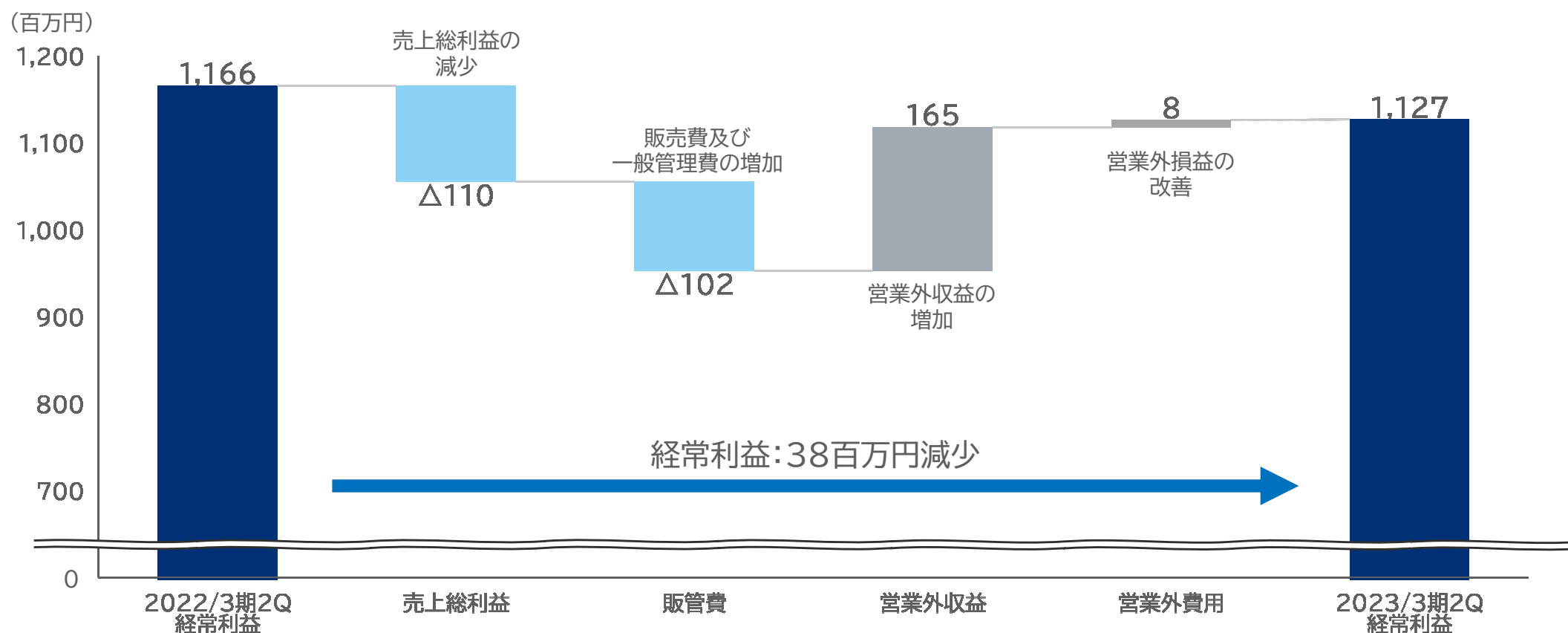
単位:百万円	2022/3期					2023/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	前同比	1Q比
売上高	6,866	6,848	6,992	6,543	27,250	7,243	<b>7,406</b>	+8.2	+2.2
売上総利益	1,196	1,086	1,143	1,035	4,462	1,155	<b>1,017</b>	△6.4	△12.0
販管費	553	579	659	657	2,449	619	<b>615</b>	+6.3	△0.6
営業利益	643	507	483	377	2,012	536	<b>401</b>	△20.8	△25.1
為替差損益	△11	7	20	19	34	84	<b>53</b>	-	-
経常利益	639	526	538	349	2,054	638	<b>489</b>	△7.0	△23.3
四半期純利益	482	365	372	324	1,545	431	<b>346</b>	△5.3	△19.7

- ・ パワー半導体用リードフレームは、自動車や産業機器向けを中心に好調を継続
- ・ オプト用リードフレームは、中国ロックダウンの影響で、交通インフラや自動車向けのLED需要は前期並み
- ・ コネクタ用部品は、ウェアラブル端末向けの市場拡大、スマートフォン向けは前年モデルの前倒し出荷の反動で低成長

単位:百万円	2022/3期						2023/3期				
	1Q	2Q	上期 累計	3Q	4Q	下期 累計	1Q	2Q	上期 累計	前同比	前下比
パワー半導体用 リードフレーム	2,380	2,309	4,690	2,592	2,646	5,238	2,684	<b>2,797</b>	<b>5,481</b>	+16.9%	+4.6%
オプト用 リードフレーム	969	921	1,891	878	916	1,795	1,008	<b>931</b>	<b>1,940</b>	+2.6%	+8.1%
コネクタ用部品	3,320	3,440	6,761	3,353	2,840	6,194	3,408	<b>3,496</b>	<b>6,905</b>	+2.1%	+11.5%
その他	195	176	371	166	141	307	143	<b>180</b>	<b>323</b>	△13.1%	+5.2%
合計	6,866	6,848	13,714	6,992	6,543	13,536	7,243	<b>7,406</b>	<b>14,650</b>	+6.8%	+8.2%

※今年度より製品分類を一部変更し、「パワー半導体用リードフレーム」と「その他」の間で 数値の組み換えを行いました。前年度は組み換え後の数値を記載しております。

- 売上総利益の減少 … 製品ミックスの変動と、生産力増強に伴う減価償却費、人件費等の増加
- 販売費及び一般管理費の増加 … ① 売上高の増加に加え、物流価格の高騰等による経費の増加  
② 人件費、開発費用の増加
- 営業外利益の改善 … 為替差益の増加等



- ・ 車載向けはパワー半導体用リードフレームが好調
- ・ スマートフォン向けは前年モデルの立ち上がりが早かった反動、ウェアラブル向けは新モデル向けが好調
- ・ 民生・産機・その他向けはデータセンター向け等のパワー半導体用は好調、LED用が減速

## 民生・産機・その他

- ・ 構成比は前年同期の36.7%から 2.5pt減少  
前年同期比6.5%減少
- ・ データセンターや5G向けパワー半導体用リードフレームは好調継続
- ・ 交通インフラ等のディスプレイ向けLED用リードフレームが減速

## ウェアラブル

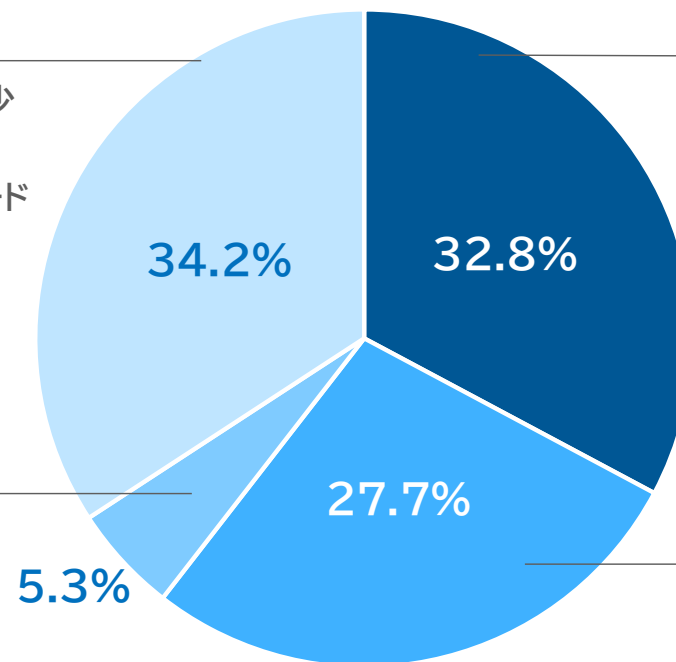
- ・ 構成比は前年同期の2.4%から 2.9pt増加  
前年同期比118.9%増加
- ・ 新モデル向け中心に需要拡大、搭載個数も増加

## 車載

- ・ 構成比は前年同期の30.3%から 2.5pt増加  
前年同期比8.4%増加
- ・ パワー半導体用リードフレームが好調
- ・ 自動車生産減少により、エアバッグ用コネクタ等が減少

## スマートフォン

- ・ 構成比は前年同期の30.6%から 2.9pt減少  
前年同期比9.7%減少
- ・ 前年モデルの立ち上がりが早かった反動、前年度下期比では回復

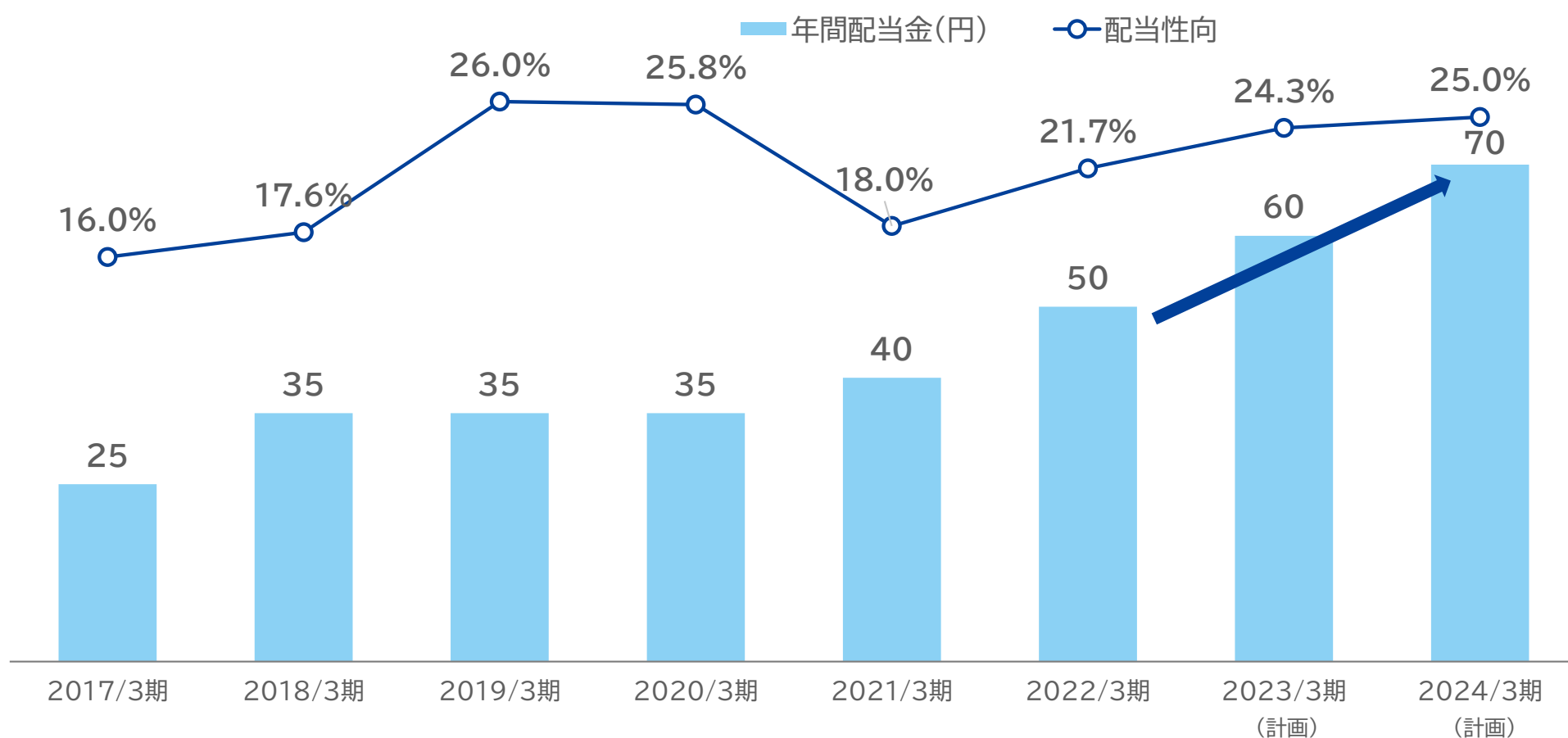


- ・ パワー半導体向けを中心とするリードフレームが牽引し、売上高は286億円を予想
- ・ 期初計画を継続するが、下期に向けてはスマートフォンの販売や自動車生産の回復動向がリスク要因

	2022/3期			2023/3期			期比較	
	上期実績 (百万円)	通期実績 (百万円)	売上比 (%)	上期実績 (百万円)	通期予想 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)	売上比増減 (pt)
売上高	13,714	27,250	100.0	14,650	<b>28,600</b>	100.0	+5.0	-
売上総利益	2,283	4,462	16.4	2,173	<b>4,650</b>	16.3	+4.2	△0.1
販管費	1,132	2,449	9.0	1,234	<b>2,450</b>	8.6	+0.0	△0.4
営業利益	1,151	2,012	7.4	938	<b>2,200</b>	7.7	+9.3	+0.3
経常利益	1,166	2,054	7.5	1,127	<b>2,200</b>	7.7	+7.1	+0.2
当期純利益	848	1,545	5.7	778	<b>1,650</b>	5.8	+6.8	+0.1
1株当たり 純利益		230.5円	-		<b>247.4円</b>	-	-	-

- ビジョン2030 1<sup>st</sup> STEPでは、津軽工場への投資等もあり、配当性向25%を目途に安定配当を継続
- 配当予想は期初計画を継続、2023年3月期は60円、中計最終年度の24年3月期は70円を計画

配当金・配当性向の推移





## 注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。